

# 津市の財務書類を公表します

## ～新地方公会計制度～



地方公共団体の会計は、家計簿のような「現金主義」を採用しています。「現金主義」は、決められた予算の中で現金を支出するため、予算をまとめやすく、現金の動きが分かりやすい仕組みです。しかし、一方で地方公共団体が今までに整備してきた資産や、行政サービスのコストがどのくらいかかっているかという情報が、分かりにくい面もあります。そのため、全ての資産・負債情報なども把握できる「発生主義」の考え方が導入され、津市でも国が示した基準モデルに基づき、資産・負債などの状況や、行政サービスのコストがどのくらいかかっているかなどを示した4つの財務書類を作成し、毎年公表しています。

ここでは、一般会計と全ての特別会計・公営企業会計を合算した市全体の財政状況が分かる「財務書類4表」のうち、貸借対照表と行政コスト計算書の概要をお知らせします。



### 貸借対照表 Balance Sheet



市がどれほどの資産を所有し、債務を負っているかのバランスを明らかにしたもので、市の資産をどのような財源(負債や純資産)で築いてきたのかが分かります。表の左側にこれまで取得してきた土地や建物・預金などの「資産」を、右側にその資産を形成したことによる将来世代の負担である「負債」と、これまでの世代が既に負担した「純資産」を表しています。

これを家計に例えると、資産は家計の財産、負債は住宅ローン残高などの借金、純資産は頭金などの負担済み金に当たります。



#### 家計に例えてみよう!



- **金融資産**…普通預金、定期預金、積立保険金、株など
- **非金融資産**…家、家具、車など
- **負債**…まだ払い終わっていないローン残高、将来かかる子どもの進学費用など

平成28年3月31日現在

単位:百万円

資産の部		負債の部		
金融資産	資金(現金、預金など)	9,796	流動負債	
	債権(未収金、貸付金など)	5,467	公債(短期)(翌年度償還予定額)	15,498
	基金・積立金	29,393	その他(未払金、賞与引当金)	4,511
	その他投資など	2,534	合計	20,009
合計	47,190	非流動負債	公債(公債残高のうち翌々年度以降償還予定額)	181,467
非金融資産	事業用資産 (庁舎、小・中学校、福祉施設など)	185,759	退職給付引当金	24,495
			その他	104,719
	合計	310,681		
インフラ資産 (道路、公園、水道など)	716,086	負債合計	330,690	
合計	901,845	純資産の部		
資産合計	949,035	純資産	618,345	
		負債・純資産合計	949,035	

### 平成27年度 市民1人当たりの貸借対照表

市民1人当たりの貸借対照表は、上記の貸借対照表の値を平成28年3月31日現在の津市の住民基本台帳人口28万2,194人で割ったものです。市民1人当たりの資産は約336万円、負債は約117万円、純資産は約219万円になります。

**資産**  
約336万円

うち事業用資産66万円、  
インフラ資産254万円

**負債**  
約117万円

**純資産**  
約219万円